

人材養成目的（令和9年度以降入学生に適用）

本校では、学科・コースごとに人材養成目的を以下のとおり定めています。

学 科	人 材 養 成 目 的
情報科学科	情報科学分野での知識及び技術を身につけた上で、各コースの専門分野に関する知識、技術、問題解決能力を身につけた情報系技術者・研究者となりうる人材及び、今後あらゆる分野で使われるようになる AI の技術を発展させうる人材を養成する。 ○コンピュータサイエンスコース AI を支える高度情報基盤の開発に貢献しうる、コンピュータ技術、ネットワーク技術、サイバーセキュリティ技術に秀でた人材を育成する。 ○データサイエンスコース AI 技術の開発と発展に貢献しうる、AI・データサイエンス、ビジネスエンジニアリングに秀でた人材を育成する。
システムデザイン工学科	数学・物理・ものづくりの基礎を身につけた上で、各コースの専門分野の基礎技術を軸として、デジタル・AI・情報技術を活用することで社会のニーズに柔軟に対応できる課題発見・解決能力を身につけた技術者・研究者となりうる人材を養成する。 ○機械情報コース 材料・加工、熱・流体、機械力学・計測制御に関する専門能力ならびに実験・実習技術を身につけ、さらにデジタル・AI・情報技術を活用することで幅広い産業分野で専門技術を応用・展開できる人材を養成する。 ○ロボティクス情報コース ロボティクスの基礎となる機械工学、電気電子工学、計測・制御工学、システム工学に関する専門能力ならびに実験技術を身につけ、さらにデジタル・AI・情報技術を活用することで幅広い産業分野で専門技術を応用・展開できる人材を養成する。 ○電気電子情報コース 電気電子回路、電気電子材料、電力・制御工学、通信工学に関する専門能力ならびに実験技術を身につけ、さらにデジタル・AI・情報技術を活用することで幅広い産業分野で専門技術を応用・展開できる人材を養成する。
物質創成化学科	化学及びバイオ分野に関する専門能力ならびに実習技術を身につけ、さらに AI などのデジタル技術を活用することで、新たな材料開発、創薬、エネルギー・環境問題解決など日々変化する社会ニーズに対応するための課題発見・解決能力を身につけた技術者・研究者となりうる人材を養成する。